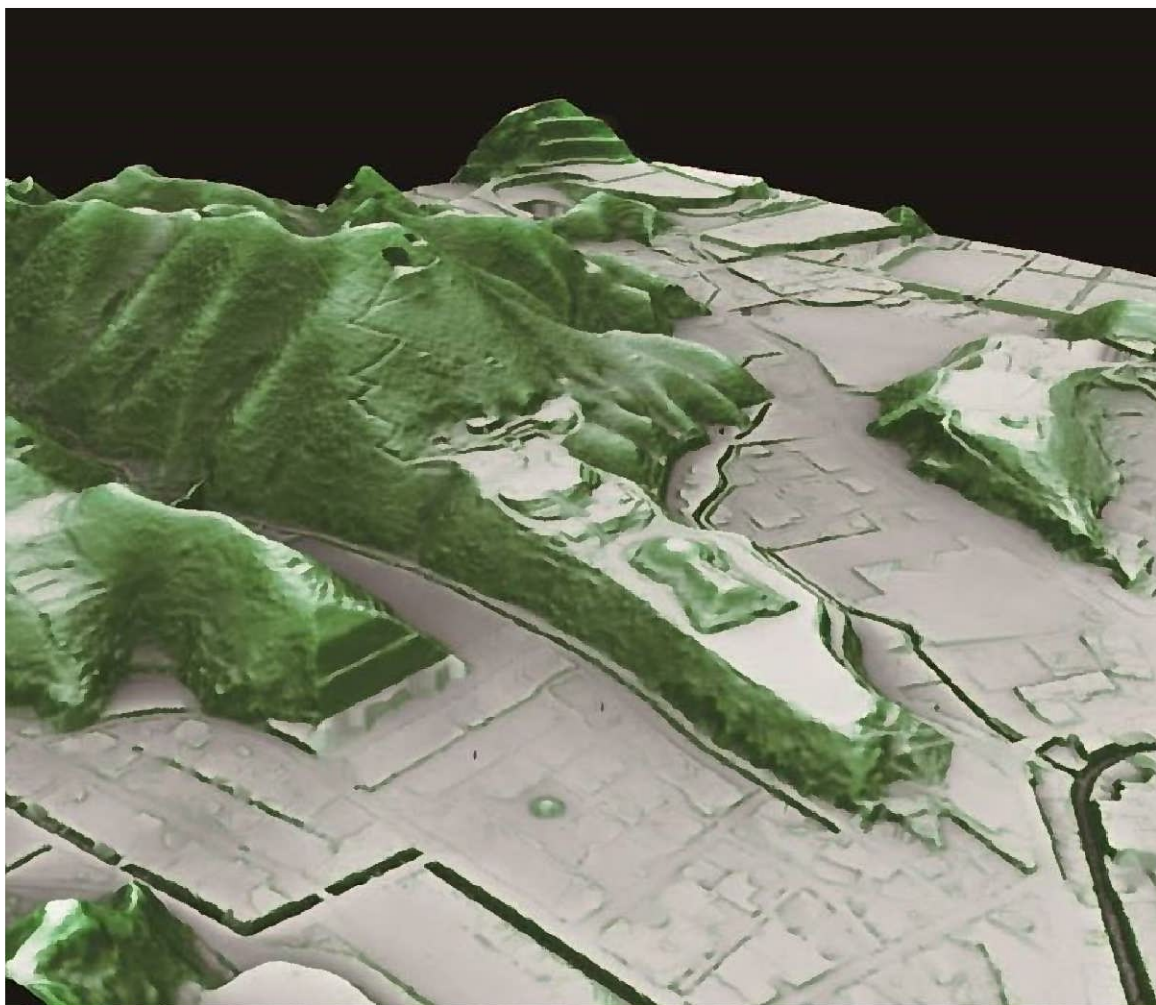


こうみょうさんこふん  
光明山古墳発掘通信 №5

浜松市文化財課 2020年1月8日

**光明山古墳の航空レーザ計測を行いました。**

航空レーザ測量は、平成30年10月18日に、浜松市文化財課と株式会社フジヤマ等が協力して実施しました。その後、測量データを解析したことにより、古墳を立体的に表現できるようになりました。前方後円墳の航空レーザ測量は静岡県内では初めての事例です。



**【航空レーザ測量について】**

航空レーザ測量は小型航空機やヘリコプターなどに搭載したレーザ計測機器からレーザを照射し、高精度・高密度に地表面を3次元計測するものです。レーザは森林や立ち入り困難な場所でも計測できます。計測データを加工し、等高線図や断面図の作成に加え、任意の位置からの観察や鳥瞰図作成、動画作成等が簡易に行えます。立地や構造を立体的に認識することや管理に役立ちます。



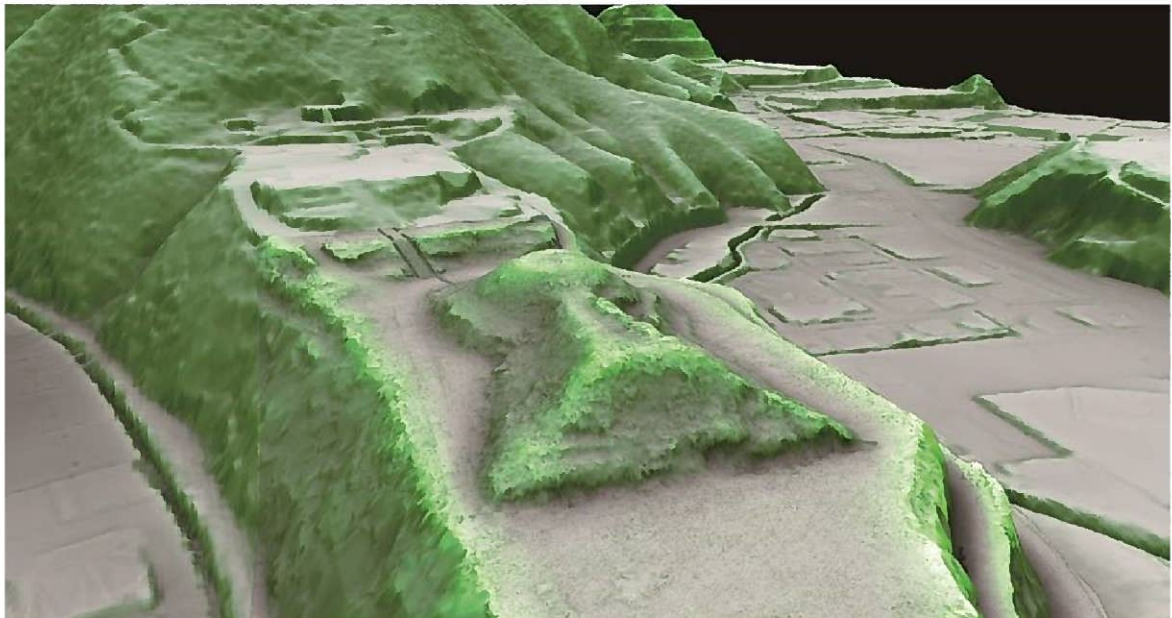
垂直写真



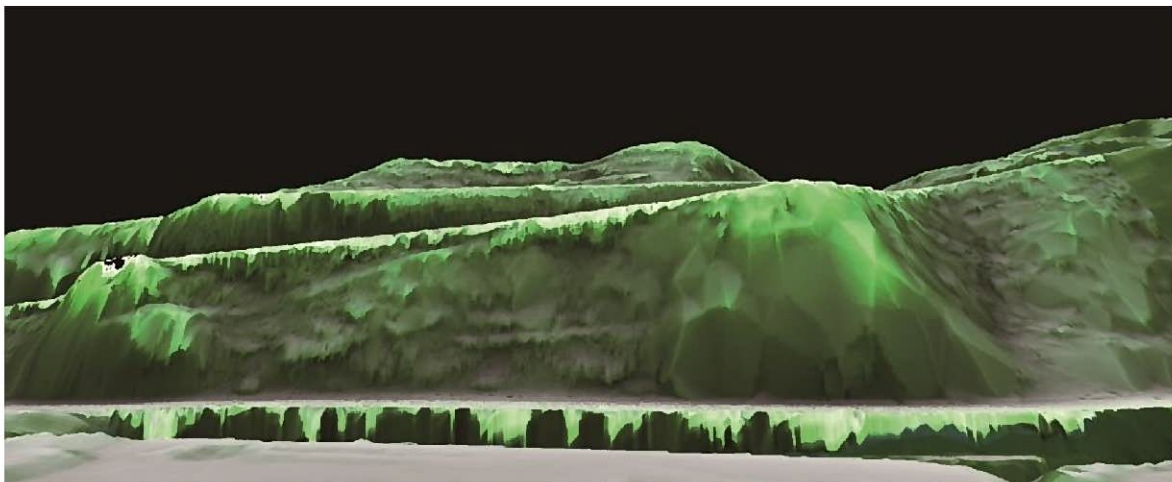
等高線図



立体図



南西上空からの鳥瞰



東からみた光明山古墳の景観